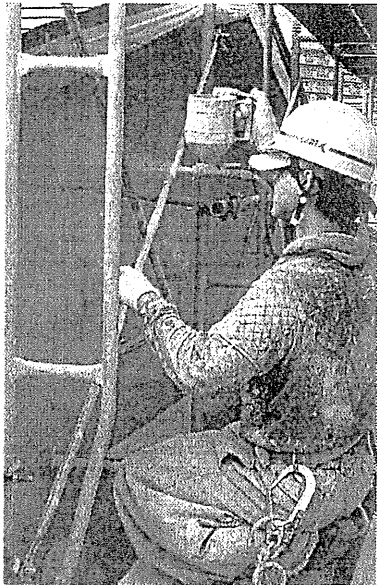


オンテックス

営業拠点7割増に

塗装工事、熟練職人も倍増

塗装リフォーム工事大手のオンテックス(大阪市、小笹公也会長)は、二〇一〇年度をメドに首都圏を中心に営業を強化する。埼玉県や北海道などに進出し、営業拠点数を現状の七割増の約八十に増やす。自社で育成して各地に派遣する熟練職人も増員。熟練職人と共同作業する地元の提携先塗装店数も現状の二割増の三百社まで拡大する。悪質リフォームの影響で落ち込んだ住宅関連需要の取り込みを狙う。



熟練職人と共同作業する地元の提携先も300社まで拡大する

同社は石張りに似た凹凸の深い壁を塗装でつくる独自技術を持つ。断熱性の高い塗料の上に石調の塗料を吹き付けてもひびが入りにくい工法の受注が好調で、営業拠点数を現状の四十七から一気に八十まで拡大する。

自社研修所で育成し、現場統括者として派遣できる熟練職人の数を現在の十九人から約四十人まで倍増させる。派遣地域も従来は関西中心だったが首都圏や東北地方の現場にも集中的に技術力の高い職人を送り込む。交通・滞在費はかかるが技術を生かした品質の確保

と工期短縮により受注拡大につなげる。

熟練職人と共同で塗装工事にあたる提携先の塗装業者数も増やし、より多くの工事を手掛けられる体制を整える。品質管理体制もさらに充実させる。厚みやムラのなさをどの仕上りの品質を監督する要員も現在の約五十人から増やす。

通常、若手職人は現場で一部の工程しか担当させてもらえず、技能を磨くのに時間がかかる。同社は大阪府和泉市に模型住宅が二棟入った実習用の大型ドームを保有。マナー講習から足場組み立て、塗装の仕上げまでを集中受講でき、高水準の技能を短期間で習得できるようにしている。

同社の〇七年三ヶ月期の売上高は約百十億円、営業利益は約十億円だったという。